

地質情報の公開と再利用 における現状と課題点

2. 地質調査業務における地質情報
3. 地質情報の公開
4. 地質情報の利活用への提言
5. 地質情報の品質確保

川崎地質(株)中田 文雄

1. はじめに

地質調査業務成果品

- ・ デジタル情報としての納品が一般化
情報資源としての再利用が可能

公共事業で実施された地質調査成果

- ・ 一般国民に公開される傾向にある
[千葉県(無料), 島根県(管理料)]

「安全・安心」の防災施策

- ・ ハザードマップ類の整備と一般公開
地質調査成果品の最終利用者は国民

?! デジタル地質情報のセキュリティ対策
が全く考慮されていない

- ?! 成果品の最終閲覧者：官庁職員 国民
・ 地質調査方法などが変わる？

2. 地質調査業務における地質情報

建設ライフサイクルの下流工程で、本当に必要となる「**地質情報の内容**」についての議論が無い **今後への課題**

デジタル地質情報の内容をチェックするシステムが無い：内容を未確認のまま提出するケースが大多数

電子成果品の品質低下の第一理由

Web-titan の開発と地質情報管理士制度

Web-GIS版電子納品統合管理システムの開発

- ・ 全地連，(NPO)GUPI，当学会共同開発
- ・ FOSSとフリーソフト
- ・ 納品用 CD-R をそのまま利用する
- ・ キーワード検索による地質情報の検索機能
- ・ MapServerによるWeb-GIS機能

報告書検索結果の表示画面(イメージ)

The screenshot displays a web application interface for searching geological reports. It features a search filter section on the left with categories like '報告書種別' and '調査年度'. The main area shows a list of search results with columns for 'Mez' and 'Report Information'. A red arrow indicates the flow from the search filter to the results, and another red arrow points from a specific result to its detailed information page.

報告書検索結果の表示画面(イメージ)

The screenshot displays a web application interface for searching reports. At the top, there is a search bar with the text "検索条件: 10041 TO 10041". Below the search bar, a list of search results is shown. One result is highlighted with a red circle and a red arrow pointing to a detailed view of that report. The detailed view shows a table with columns for "Mode" and "Data Download". The table contains several rows of data, with one row highlighted in yellow. A red arrow points from the highlighted row in the table to a detailed view of that row, which shows a map and a table of data.

報告書検索結果の表示画面(イメージ)

The screenshot displays a web application interface for searching reports. At the top, there is a search bar with the text "検索条件: 10041 TO 10041". Below the search bar, a list of search results is shown. One result is highlighted with a red circle and a red arrow pointing to a detailed view of that report. The detailed view shows a map with several red markers and a table of data. The table has columns for "Mode" and "Data Download". The table contains several rows of data, with one row highlighted in yellow. A red arrow points from the highlighted row in the table to a detailed view of that row, which shows a map and a table of data.

2.6 ボーリングデータベース構築上の課題

課題点

- ・統一された判断基準が存在しない
- ・発注者によって仕様書が異なる/存在しない
- ・受注者間で考えの相違と技術の格差がある

地質事実データの作成上における課題の解決

- ・公共事業における地質・土質統一標準の策定

土木地質図のJIS化による凡例の統一

[TS A0024 地質図 - 土木地質図に用いる記号、色、模様、用語及び地層・岩体区分の表示とコード群]

- ・(公共事業)地質情報を管理する職員の養成
全地連地質情報管理士制度
委員長：塩野清二・日本情報地質学会長
- ・容易に成果品を確認・修正できるツール開発
Web-titan(全地連・コンソーシアム)

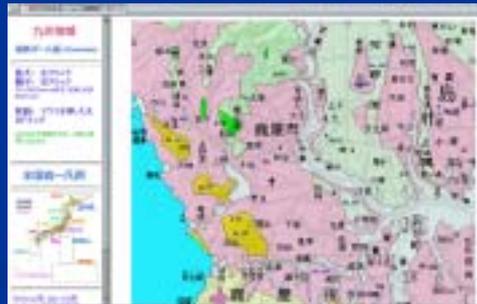
3. 地質情報の公開

ボーリングデータの公開と課題点

- ・テキストデータである[XML]の改ざんの懸念
 - ・特に建築確認申請時に添付する柱状データ
 - ・悪意ある改ざんの影響 不適切な構造物建築
 - ・原本の証明が不可能 信頼性のあるデータは？
- 電子化された地質情報のセキュリティ対策

地質図の公開

- ・広く流通させるためには、Google系などの公開ネットワークで利用可能にする。



ハザードマップ

- ・土砂，地盤変動，地震，火山噴火の各災害
- ・ハザードマップの普及：土地の評価額算定に影響を与える可能性がある？
- ・ハザードマップの信頼性：少ないファクトデータの評価と，将来像を予測する高水準の技術
- ・重大なミスの場合には瑕疵担保責任を問われる？

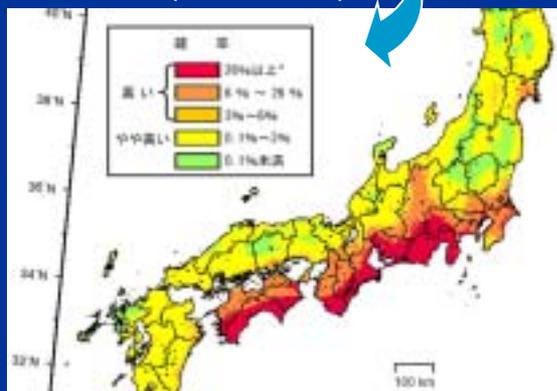


4. 地質情報の利活用への提言

地質情報による災害リスクの回避

- ・防災科学(研) K-NET
1kmメッシュ地盤モデル
30年内の震度6弱に見舞われる確率
損害保険基準料率の見直し(2006/5)

直接，災害リスクを回避した成果ではないが，地質情報が災害リスクに結びついた好例



5.地質情報の品質確保(まとめ)

地質情報の原本性確保

- ・改訂履歴(トレーサビリティ)の厳重管理
[真正性の担保, 作成者・時刻, 改訂者・時刻]
- ・証明費用の低価格化と平易な操作性が必要

土木地質図のJIS化による地質凡例の統一

- ・TS A0024(2006/6/20)
- ・土木地質図は**公共事業**で作成される
- ・発注機関を横断する**統一土木地質図**の作成
GISで統一的に管理・表現が可能

情報管理に精通した技術者の養成(資格制度)

- ・電子化された地質情報の形式と内容の管理
[情報の品質管理能力, 情報処理能力, CADや
GISに関する知識, 情報セキュリティ]